

ティーチングポートフォリオ

佐賀女子短期大学 地域みらい学科 久保知里

1. 教育の責任

グローバル共生IT・司書アーカイブズ・韓国語文化コースの3コースは「多文化共生」を主題として教育を実施している。「多文化共生の理解」という科目を筆頭に各国に特化した「文化」的な素養を学ぶ科目を設置することで、学生の将来を豊かにしていくことが必要である。各国からの視点として「日本」「韓国」「アメリカ(欧米圏)」を設定している。

2. 教育の実施における理念

教員が一方向的に教授するような「座学」のみなならず、学生同士のワークショップや課題研究などとりいれつつ教育を実施することで、より学生にとって有意義な学びになるような授業設計を心がけている。

3. 教育の方法

展開時期は1年次後期。担当する「日本の食文化」の内容は9～11月に7回実施。基本的には概要を理解し、説明できる、食と日本社会の変化の関係性について理解できるように知識を伝達を行う。

また、Mellyのクlicker（投票）機能を使い、理解度把握を行う。講義の内容を理解出来たかを問うこと（それを学生に見える化すること）自体で理解度（到達度）図るのではなく、講義形式で情報・知識を伝達（教授）し、その後、学生の考えを表明してもらう。その際Mellyのクlicker機能で考えを表明して、それぞれの考えを発表してもらう。そのことにより、より深い理解を促す方法を取る。

4. 教育の成果

成績や授業アンケート結果などは以下の通りである。

*成績(久保担当分)

秀:0 優:8 良:6 可:2 不可:1 平均 70.2 点

※退学1名は除く

*到達度評価

1:0% 2:0% 3:0% 4:38% 5:63%

回答者のほとんどが到達目標を達成したとの自己評価をしている。

*学生の満足度(授業アンケートの評価結果)

「話はとても興味深く、面白かったです」との意見がある一方、「過去じゃなくて現在の日本についてにもっと学びたいです」との意見があった。これは過去が現在に繋がっているという意識を授業のなかで醸成できていない可能性が高い。この点は授業構成や声かけを考えて、きちんと学生に自分ごととして落とし込めるよう改善していく必要がある。

*授業中での理解度把握の実施

Mellyのクlicker機能を使い、理解度把握を実践した。

日本の文化II
火曜

久保 知里
33026
11月08日(火) 09時23分

これから「食」は豊かになると思いますか?

57% はい (8名)

43% いいえ (6名)

14 / 18 が回答済み

11月25日(金) 11時16分 作成されました
受講生全員が表示済み

久保 知里
33026
11月08日(火) 09時10分

「昆虫」を食べたいですか?

0% はい (0名)

27% いいえ (4名)

73% むり!!! (11名)

15 / 18 が回答済み

タイムライン 個別連絡 課題 その他

上記「教育の方法」の通り、まずは学生に知識を伝達。具体的には、江戸時代の余暇(時間)の創出と命の危険性の減少、健康への欲求などが出現したことが、「食文化」を生み出したことを事例を示しながら授業を実施。到達目標「食文化の変化の概要」の理解を確認するために『これからの「食」は豊かになるか?』の問いを学生へ投げかけ、全員で結果を共有し、自分以外の意見を見た。その上で、なぜそう考えるのかの理由を発表。今回、問いの結果(豊かになる 57%、ならない 43%)にそこまで差は出なかったが、各自がどうしてそう考えたのか意見をきちんと出すことで、より理解を深めることに努めた。内容を人前で発しにくい学生のことも考慮し、Google フォームで意見共有などを実施すべきかなど、今後検討したい。

5. 目標

「日本の食文化の概要を理解し、説明できる。また、食と日本社会の変化の関係性について理解できている」と到達目標を掲げている。